事業所通信No. 140

特定非営利活動法人はちくりうす
東京都目黒区鷹番3-14-9
Tel：03-3793-3012
Fax：03-5856-6700
E-mail：office@8curious.or.jp
https://www.facebook.com/8curious
編集担当：榎本　佑紀

平成29年度　目黒区障害者雇用促進フェアに参加してきました。

3月6日、めぐろパーシモンホール　小ホールで行われた「目黒区障害者雇用促進フェア」に参加してきました。これは、障害者の地域での雇用を促進するために、目黒区　目黒障害者就労支援センターが主催となって行っている取り組みです。都内の就労支援センターの職員や、就労を目指している障害当事者が集まっていました。
会場には、地域で働いている当事者の様子を写真で紹介するパネルが展示されていました。はちくりうすの利用者、Fさんの働いている様子もしっかり紹介されていましたよ。
　他にも、区内の就労支援施設で作っているクッキーや、コーヒーの販売もありました。

今回の雇用促進フェアは2部構成。1部は、東京大学　先端科学技術研究センターの近藤武夫先生による講演がありました。
テーマは「超短時間雇用という新しい働き方のデザイン」。近藤先生の研究室では、なんと、1日15分からの超短時間雇用が行われているそう。そして、新しい雇用の仕組みである「IDEAモデル」についての紹介もありました。IDEAモデルとは、業務が集中している特定の部署で、必要な業務とそれにかかる時間を割り出し、労働者に割り当てるというもの。1つの仕事を集中して行うので、あらゆるスキルを求められることがなく、離職率も減少できるシステムです。
他にも、「特例子会社は、特別支援学校の会社版」という言葉も強く印象に残りました。

2部では、実際に目黒区就労支援センターを利用している当事者2名が自分の体験をお話ししてくださいました。1人目の方は、視覚に障害をお持ちの天野さん。現在は、銀座のアップルストアで勤務しているそうです。2人目は、精神障害をお持ちの小林さん。この4月から、一般企業で障害者枠として働くそうです。小林さんは、就労を目指す障害者のために「自己分析シート」を作成してくれていました。私も、就職活動にぜひ活用していきたいと思います。
実際にセンターを活用して、就職した2人のお話しは、就職に不安を抱えていた私の疑問や不安を取り除いてくれるものとなりました。今後も積極的にこのようなイベントに参加していきたいと思います。（榎本）

リフト付きタクシー廃止

3月31日で高砂タクシーが区から委託されている「リフト付き福祉タクシー」が廃止になり、介護タクシーを利用してもらう新しい制度になります。
「リフト付き福祉タクシー」は高砂タクシーと区との委託で3台あり、予約して利用者負担はメーターの40%の支払い。
「介護タクシー」では、いわゆる民間の業者が運営しているリフト付き介護タクシーになり、メーター料金、通常予約料、迎車料、基本介助料がかかります。

区との交渉で高砂タクシーは、今までの契約と同じ条件でないと継続できないとの事と、「福祉タクシー」を回数多く利用する方と、予約が取れず民間の「介護タクシー」を利用せざるを得ない方との不公平感を是正したいという説明でした。（裏面へ続く）

特に医療ケアの必要な利用者さんから、高砂タクシーへの信頼感と、民間業者への不安感。民間利用になったときの金額金額が高くなることへの心配の声が上がりました。ですが、区の対応は意見を汲み取る対応はなく、今後の説明に終始するのみでした。

★変更点★

1　予約(500円)・迎車（700円）・介助料（1,000円）を補助する金券を上限　24枚→48枚に増やす
2　「福祉タクシー利用券（介護タクシー分）」を1万円交付←平成30年限定。
3　介護タクシー高額利用補助→介護タクシーの利用が14万円を超えた場合、超えた金額の50%を申請により補助。
　（タクシー券が30年は4万円交付されるので、4万円を差し引き10万円を超えた分という考え方）
　→30年から3年間限定
4　特別支援学校在宅訪問教育対象児学校行事参加事業→医療的ケアで在宅訪問参加事業→
　医療的ケアで在宅訪問教育の対象児童が学校行事に参加する際の補助として年間９万円の「福祉タクシー利用券」を支給。（島村）

重度障害者が地域生活を送るうえで欠かせない「福祉タクシー」。長年担当してくださっていた高砂タクシーの廃止は、衝撃的なものでした。今後、料金が上がってしまうことで利用を諦めなければならない人が出てくることに憤りを覚えました。（榎本）

総会を開催しました。

4月ヘルパー月例会

日時：4月17日　（火）10：00～12：00
場所：五本木住区センター　第2会議室
内容：情報共有など
※次回は５月17日(木)10：00～12：00に行います！
場所は鷹番住区センター第３会議室です。

編集後記

ピン芸人No.1を決める「R-1ぐらんぷり」で見事優勝した濱田祐太郎さん。彼は、ほぼ全盲で舞台に上がるときも白杖を持っています。そんな彼が、健常者の芸人と同じフィールドに立ち、芸を競い合いました。これって画期的だと思うのは私だけではないはず。「障害があるから」と特別扱いせずに、一緒に戦う。本当の意味でのバリアフリーってこういうことだと思うのです。

編集見習い　榎本　佑紀